

2006年1月16日

数学教室主任各位

拝啓

新春の候、皆様にはご清祥のことお喜び申し上げます。日頃から、日本数学会と「数学通信」の運営にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

個人情報保護法の下で修士論文・博士論文のタイトルを「数学通信」誌上で公開することの是非についてご意見を各教室に求めましたところ、多くの貴重なご意見をいただきました。このことを深く感謝いたします。

この各教室からのご意見を受けて理事会と編集委員会で協議いたしました結果についてお知らせするために、この書簡をお送りする次第です。各教室からお送りいただきましたご意見では、論文タイトル掲載の継続を望む声が多く、理事会・編集委員会といたしましては継続を決定いたしました。また、個人情報保護という法令遵守の必要から、論文の提出者の承諾書を各教室に集めていただく形式とさせていただきます。このことに加えて、第1号（5月号）への掲載までの時間的な制約を考慮して、各教室からは電子メールで論文タイトルなどのデータをお送りいただくことといたします（掲載承諾書は郵送となります）。

以下では、この決定について詳細の説明をさせていただきます。

（1）（個人情報保護について） 個人の情報に関するデータベースを構築するにあたっては、その公開・非公開に拘らず本人の承諾が必要となります。これは、博士論文のように公開されている情報を収集する場合でも同様となります。個人情報の範囲に論文のタイトルが該当するかどうかという疑問がありますが、これは判例がない以上は確信をもって判断できかねる状況にあります。このような現状では、数学会が被るリスクを最大限に排除するために、本人の承諾を得るしかないと編集委員会では判断いたしました。この判断は、いくつかの大学におけるデータベース構築の際の個人情報の取り扱いを参考として下し

ました。もちろん、個人情報保護の法令の運用が安定的になった時点では、このような手続きが不必要になる可能性が大きいとも考えます。しかし、運用の不安定な現状を考慮して、社団法人としての法令遵守を慎重に行ないと思います。このことについて各教室にご理解いただきますようお願いいたします。

本人の許諾につきましては、同封いたしますフォームに本人が記入したものを、データ提出時に事務局に郵送していただきたくお願いいたします。また、掲載同意書がない場合は個人名を除いて論文タイトルのみを掲載することとします。(時間的には、2月に本人からの承諾を得ることになると思いますので、よろしく申し上げます。)年度末、年度はじめのご多忙な時期にこのような事務的に煩雑なことをお願いすることとなりますが、よろしくお願い申し上げます。

(2) (電子的なデータの提出) 前回の書簡でもご説明いたしましたが、各巻第1号(5月号)に間に合わせるために、事務的には限界に近いところまでできています。今回は、さらに本人の意思確認も加わります。そこで、各教室にはお手数をおかけしますが、論文タイトルなどのデータは電子メールで `tex` ファイルとしてお送り頂きたいと思っております(掲載承諾書は郵送です)。そのための `style file` も用意いたします。この詳細については、データの提出に関する依頼を正式に2月にお送りいたしますときに説明いたします。

なお、この件に関するご意見・ご質問は

thesis@math.or.jp

にお送りください。よろしくお願い申し上げます。

敬具

「数学通信」編集委員長
戸瀬 信之

社団法人日本数学会御中

貴会の「数学通信」誌上において氏名、研究科名、修士論文のタイトルを公開することを承諾します。

研究科名 大学 研究科 専攻

氏名

修士論文タイトル

2006年 月 日

(署名)